

# 記載例

小作 入力	地番 作成	台帳 訂正	照 合		受付NO.		
<b>利用権設定申出書</b>					大分・鶴崎		
平成 年 月 日					大 南		
大分市長 殿 (農業委員会 経由)					植田・野津原		
利用権設定等促進事業に基づき、別添計画書のとおり (賃借権・使用貸借権) の設定をしたいので申し出ます。					大在・坂ノ市 佐 賀 関		
<input type="checkbox"/> 認定農業者 (No. )		<input type="checkbox"/> 農業生産法人		<input type="checkbox"/> 呼び出し			
<input type="checkbox"/> 新規就農者 (40a 以上・未満)		<input type="checkbox"/> 経営移譲年金		<input type="checkbox"/> 新 規			
<input type="checkbox"/> 解除条件付 (個人・法人)		<input type="checkbox"/> 3条同時申請		<input type="checkbox"/> 再設定			
<b>添 付 書 類</b>							
要 不要		要 不要					
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 営農計画書		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 法人の定款の写し					
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 同意書		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 法人の登記事項証明書 (原本で3ヶ月以内のもの)					
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 住民票 (コピー可)		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 確約書					
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 登記事項証明書 (土地登記簿謄本 (コピー可))		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品目別収益表					
利用権の設定を受ける者 (借り手)		住所	大分市荷揚町2番31号	氏名又は名称	大分 一郎 <span style="float: right;">㊟</span>		
台帳頁 ( )		TEL	534-6111				
利用権の設定をする者 (貸し手)		住所	大分市大字八幡200番地	氏名又は名称	農業 太郎 <span style="float: right;">㊟</span>		
台帳頁 ( )		TEL	537-5654				
局長	次長	係長	台帳処理		受付簿 処 理	受 付	受 付 印
			貸し人	借り人			

貸し手、借り手  
ともに記入・  
押印してくださ  
い。

# 利用権設定（経営受委託、移転及び転貸を除く）関係

（原簿）

農用地利用集積計画書

記載例

1 各筆明細 この計画について下記のとおり同意する。

押印

整理番号	利用権の設定を受ける者 (A)				(住所)	大分市大字大分 100 番地			(氏名)	大分 一郎		印 ← [同意印]
	利用権を設定する者 (B)				(住所)	大分市大字八幡 200 番地			(氏名)	農業 太郎		印 ← [同意印]
利用権を設定する土地 (C)					設定する利用権 (D)					利用権の条件その他 利用権の設定に係る 法律関係 (E)		
所在	地番	登記地目	面積 (㎡)	利用権の種類	内容	存続期間	始期～終期	借賃	借賃の支払方法			
大字	字											
大分	中洲	100C	畑	1234	賃借権 又は 使用貸借権	6 年	年 月 日から 年 12 月 31 日まで	10,000 円 又は 米 60kg	毎年 12 月末 直接支払	賃貸借 又は使用貸借		
					水田として利用 普通畑として利用 樹園地として利用 施設用地 (ハウス)		年 月 日から 年 12 月 31 日まで			記入しない 農業委員会が 記入します		
					いずれかを記入		記入					

- (記載注意)
- (1) この各筆明細は、利用権設定の当事者ごとに別葉とする。利用権の設定を受ける者(A)は借り手で、利用権を設定する者(B)は貸し手である。
  - (2) (C)欄の「面積」は、土地登記簿によるものとし、土地登記簿の地積が著しく事実と相違する場合、土地登記簿の地積がない場合及び土地改良事業による一時利用の指定を受けた土地の場合には、実測面積を( )書きで下段に2段書きする。なお、1筆の一部について利用権が設定される場合には、〇〇〇〇㎡の内〇〇〇㎡と記載し、当該部分を特定することのできる図面を添付するとともに、備考欄にその旨を記載する。
  - (3) (D)欄の「利用権の種類」は、有償の場合は「賃借権」、無償の場合は「使用貸借権」と記載する。
  - (4) (D)欄の「内容」は、利用権の設定による当該土地の利用目的(例えば水田として利用、普通畑として利用、樹園地として利用、農業用施設用地(畜舎)として利用等)を記載し、水田裏作を目的とする賃貸借等の場合にはその利用期間も併記する。
  - (5) (D)欄の「存続期間」は、「〇年」と記載する。
  - (6) (D)欄の「借賃」は、当該土地の1年分の借賃(期間借地の場合には、利用期間に係る年分の借賃)の額を記載する。
  - (7) (D)欄の「借賃の支払方法」は、借賃の支払期限と支払方法(例えば、毎年〇月〇〇日までに〇〇農協の〇〇名義の貯金口座に振り込む等)を記載する。
  - (8) (E)欄は、(D)欄の「利用権の種類」に対応して有償の場合は「賃貸借」、無償の場合は「使用貸借」と記載する。

### 3 利用権の設定等を受ける者の農業経営の状況等

氏名又は名称	大 分 一 郎			年 齢	45	農作業従事日数	200 日/年			
利用権の設定等を受ける土地の面積 (A) (㎡)	利用権の設定等を受ける者が現に耕作又は養畜の事業に供している農用地の面積(B)(㎡)			利用権の設定等を受ける者の主たる経営の作目 (C)			利用権の設定等を受ける者の世帯員 (構成員) の農作業従事及び雇用労働力の状況 (D)		利用権の設定等を受ける者の主な農機具の所有の状況 (E)	
							世帯員 (構成員)	農 業 従 事 者 (うち15歳以上60歳未満の者)		種 類
農 地	1,234	農 地	7,500	水 稻	男	3 人	農 業 専 従 者 ( 2 人 ) ( 1 人 )		トラクター コンバイン 田植機	1 1 1
採草放牧地		採草放牧地	露地野菜	女			2 人	農 業 補 助 者 主として農業に従事する者 ( 1 人 )		
その他			ほうれんそう		農 業 補 助 者 従として農業に従事する者 ( 2 人 ) ( 1 人 )					

(記載注意) (1) (C)欄は、主たる経営作目を「水稻」、「果樹」、「野菜」、「養豚」、「養鶏」、「酪農」、「肉用牛」、「施設園芸」等と記載する。

(2) (D)欄は「農業専従者」とは、自家農業労働日数が年間おおむね150日以上の者を、「農業補助者」とは、自家農業労働日数が年間おおむね60~149日の者をいう。

### 4 貸し手の状況

氏名又は名称	農業 太郎	年 齢	75	職 業	無 職	農業後継者	有・無	経営農地面積	1,500 ㎡
--------	-------	-----	----	-----	-----	-------	-----	--------	---------

いずれかに○印を

### 5 貸付事由

1. 参加農業生産法人への貸付	5. 兼業による経営縮小	9. 集約部門への転換のため
2. 経営移譲年金の受給のため	6. 高齢化	10. 期間満了に伴う再設定
3. 農業廃止	7. 病気等で労力不足	11. 水田裏作の貸付
4. 相手方の要望	8. 耕作不便、低生産地のため	12. その他

該当する項目の番号に○印を